❖久留米シティプラザを学習用に開放

会議室を勉強部屋に

4月から開始

久留米市は、4月12日から、久留米シティプラザの空き会議室を学習室として無料で開放しています。施設の有効活用と学生などの自主学習の支援を目的にしています。

開放するのは、大会議室または中会議室で、利用できる時間は、9時から22時までの空きがある時間帯。学習目的の人が対象で、私語や飲食の禁止など、利用上の注意があります。

ホームページで確認

開放する会議室や定員、時間帯などは、同プラザのホームページに、開放日の5日前までに掲載します。

施設の予約状況によって開放できる部屋数や定員は変わります。また、施設の点検や修繕がある時は利用できません。

詳しくは、ホームページや問い合わせ先で確認してください。

問久留米シティプラザ施設運営課（☎0942・36・3000、FAX0942・30・3086）

開始から最初の日曜日にも、学習室を利用する人の姿が見られました

くるめ環境フェア　未来のために、いま選ぼう。

6月3日㈰ 10時～15時　久留米百年公園

市民の皆さんに、環境問題に関心を持ってもらうことを目的に、「くるめ環境フェア」を開催します。楽しみながら環境問題を学べる催しがいっぱいです。

【展示コーナー】

電気自動車、太陽光発電設備を備えたキャンピングカー、超小型水力発電装置など

【リユースコーナー】

遊ばなくなったおもちゃを交換する「かえっこバザール」、おもちゃ病院、フリーマーケットなど

【体験コーナー】

燃料電池自動車の助手席試乗、マイ箸作り、どんぐり工作、筑後川の民話を題材にした紙芝居など

【緑のカーテン講習会】

日差しを遮り、省エネにつながる緑のカーテンの育て方の講習会です。終了後、ゴーヤの苗を配布します①11時45分、②14時。各15分程度

【ステージイベント】

分別救助隊ワケルンジャーのショー、環境落語など

出張環境交流プラザ

宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザのスタッフやサポーターが、環境フェアの会場に出向いて、ワークショップを開催。不用になったプラスチックの板を使ったキーホルダー作りや牛乳パックを利用したおもちゃの工作などを行います。

キーホルダーは、プラスチック板に絵を描き、オーブントースターで焼いて作ります

問環境政策課（☎0942・30・9146、FAX0942・30・9715）

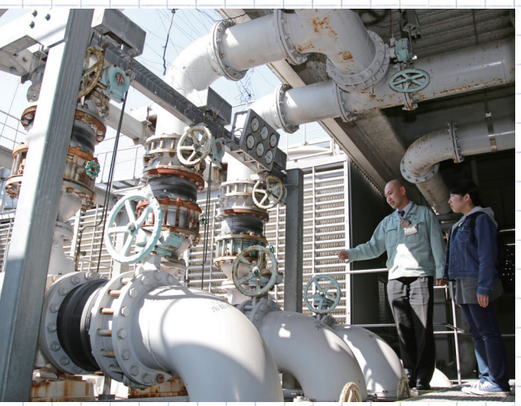
くるめ学生通信 34

保守コストを削減 仕事もスリムに

市内の大学生が、久留米市の仕事などを取材し、学生目線で発信するシリーズです。

問広報課（☎0942・30・9119、FAX0942・30・9702）

公共施設の設備保守点検を見直して、経費削減や地場企業の活用を実現する工夫が、優れた改善として市役所内で表彰されたんだって。担当の設備課の職員に聞きました。



本庁舎の空調設備の説明を受ける久留米大学の井上まみさん（右）

――設備課はどのような仕事をしているのですか

建物は、電気や空調などの「設備」が入って、初めて使える状態になります。設備課には電気や機械などの専門職員9人が勤務。約600の公共施設にある、主な設備の状態を見て、改修が必要かどうかを判断。設備工事の設計や監理をします。また、修繕を発注する施設担当課に対して、技術的な支援もしています。

――庁内で表彰された改善を行った背景や課題は

保守点検は外注していて、その際どんな作業を、いつ、何回するかなどを、契約の時に仕様書で示します。しかし、施設担当課の職員の多くは設備に関して素人。専門的な設備になると限界があります。

そこで、大型の空調機器の保守契約に絞り、仕様書の内容を点検。すると、指示事項に多くの課題を発見しました。そこで私たちが、仕様書の見直しをすることにしたのです。

また、平成27年度の発注状況を見てみると、ほとんどが市内の企業でもできるのに、約半分の契約が市外への発注でした。そこで企業の選定にもアドバイスすることに。市内の空調設備業者と意見交換を行うとともに、多くの企業が入札に参加しやすいよう、仕様書の内容を明確にしました。

――改善の効果やこだわりのポイントは

まずはコストの削減です。例えば、本庁舎の冷暖房設備の導入費用は数億円に上ります。きちんと点検して、長く使うだけでもコスト削減になります。保守点検の内容や回数、項目などを適正にすることで長寿命化が期待できます。

また、29年度は対象設備の全ての保守契約を、市内企業にお願いできました。

設備課の仕事や改善の内容をインタビュー。設備の設計書を初めて見ました

地元企業なので移動時間が少ないなど、余計な経費が発生しません。27年度と比べて委託料を約120万円減らすことができました。

もう一点は、地域経済の活性化の視点。なるべく地場企業が受注できるように工夫する方が、市役所としてより良い仕事のあり方だと思います。距離が近い分、お互いに仕事がやりやすい面もありますからね。

――私たちが普段何気なく利用している公共施設の空調などにも多くの税金が掛かっていることを知りました。そして、それを管理している職員の皆さんが、費用削減だけでなく、地域経済にも目を向けていることに驚きました。

本庁舎の屋上で、実際に動いている設備を間近で見たのも、貴重な体験でした。

専門的な内容が多い題材。質問をしながら理解を深めました